

事業名称		達成状況の評価
事業名	県営農村地域防災減災事業	B
整理番号	27-3	目標を一部達成した。(達成割合75~99%)
事業の種類	ため池の改修	
市町村名	塩尻市	配慮した項目 25
箇所名	塩尻市大字金井(みどり湖地区)	= 93%
事業年度	平成27年度~平成31年度事業	配慮する全項目 27
事業概要		
目的	平成24年度に堤体耐震診断を行った結果、堤体上流側法面で地震時における所定の安全度が確保出来ない結果となったため、施設の耐震化を図るよう改修工事を行う。	
事業概要	堤体押え盛土工L=87m 洪水吐工改修L=174m 取水施設等改修1式	
関連する事業計画	塩尻市農村地域防災減災推進計画	
その他特記事項	なし	
関係法令等の規制		
自然環境保全地域等の指定状況	なし	
土地利用規制の状況	なし	
その他	なし	
自然的環境要素	環境配慮の方針	環境配慮の実施内容 (環境配慮の方針と異なる場合はその理由)
大気環境	<b>【大気汚染の防止】</b>	
	・資材等の運搬ルートは、居住系地域内の走行は出来るだけ避ける。	適正に実施した。
	・土砂表層の散水や道路の散水、車両や機械の清掃等を行い粉じんの飛散を防止する。	適正に実施した。
	<b>【騒音、振動の防止】</b>	
	・夜間・早朝の資材運搬及び機械の稼働を出来るだけ避ける。	夜間・早朝の資材運搬及び機械の稼働を行なわなかった。
	・低騒音・低振動型の建設機械を採用する。	低騒音・低振動型の建設機械を採用した。
水環境	<b>【水質汚濁の防止】</b>	
	・上流からの流入水は仮廻しを行い、濁水の排水を避ける。	上流からの流入水は、沈砂地等を設け、濁水の排水を避けた。
	・沈砂地やオイルマットを設置し、濁水や油脂類の排水を避ける。	適正に実施した。
	<b>【水循環の保全】</b>	
・上流からの流入水は仮廻しを行い、受益地への用水を確保する。	受益地への用水を確保した。	
地形・地質	<b>【改変面積の最小化】</b>	
	・既存施設の補修・改修を主体とし、新たに施設を設置することは避ける。	既存施設の補修・改修を行った。
	・堤体の押え盛土工は、最小断面とする。	最小断面とした。
野生動植物	<b>【野生動植物の生息・生育空間の保全】</b>	
	・特定外来魚類のオオクチバスとブルーギルが下流へ移出ししないよう配慮するとともに、魚類等を隣接するため池に一時移転する際には、あらかじめ、オオクチバス等を駆除する。	特定外来魚が下流へ流出しないよう配慮及び駆除した。ヘラブナ等については、近隣ため池へ移転した。
	・みどり湖下のホテルが生息する水辺の保全のため、工事時には沈砂池を設け土砂流出を防ぐ。	沈砂地を設け、土砂流出を防いだ。
	・水芭蕉の保全のため、水芭蕉公園に流入する水路の水を止めずに工事を行う。	水芭蕉公園に流入する水路の水を止めずに工事を行った。
	・ため池落水時には、魚類等を隣接するため池へ一時移転し保全を図る。	工事前に近隣ため池へ移転した。
景観	<b>【すぐれた景観の保全】</b>	
	・工事個所の整理整頓・美化に努め、仮施設や資材置き場は目立ちにくい配置にする。	適正に実施した。
	<b>【良好な景観の育成】</b>	
	・樹木の伐採は出来るだけ避ける又は樹木等による緑化に努める。	樹木の伐採は、必要最小限とした。
	・周辺の景観と調和するよう配慮する。	建屋壁色を景観色にするなど、周辺景観との調和に配慮した。

自然とのふれあい	【自然とのふれあいの場への立地の回避】	
	・水芭蕉の植生地を避けて工事用道路を設ける。	適正に実施した。
	【自然とのふれあい空間の創出】	
	・ため池工事時には、隣接する別のため池へヘラブナを移動させて釣りを楽しめるようにする。	ヘラブナを近隣のため池へ移動した。
廃棄物・建設残土	【建設廃棄物や建設残土の発生抑制】	
	・建設廃棄物や建設残土の適正処理を行う。	適正に処理した。
	・建設副産物の発生を抑制する施設配置、線形、工法、資材等の採用に努める。	洪水吐工について、全面取壊しを行わず、既設建造物の内側に必要な機能を有する洪水吐工を造成した。
	【建設廃棄物や建設残土のリサイクル】	
	・現場発生材の原位置リサイクル等、建設廃棄物や建設残土のリサイクルを推進する。	適正に実施した。
	【資源の有効利用】	
	・再生As合材、再生骨材、木材チップ、建設汚泥改良土等再生資材の利用に努める。	適正に実施した。
	・信州リサイクル認定製品の利用を推進する。	使用を検討したが、適した資材が調達できなかったため、使用しなかった。
・自然石、県産木材等環境に負荷の少ない資材の使用に努める。	使用を検討したが、適した資材が調達できなかったため、使用しなかった。	
省資源・省エネルギー・温室効果ガス	【環境への負荷の少ない機械の利用等】	
	・低燃費型建設機械や省エネ機構搭載型建設機械を積極的に使用する。	適正に実施した。
	・アイドルストップ、エンジン回転数の抑制等機械の省エネ運転に努める。	適正に実施した。
	・点検整備を行い適正な燃費消費率を維持する。	適正に実施した。